

平成24年12月13日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成24年度 第1回 三部会合同部会

◆ 12月13日(木)、美しい多摩川フォーラムの平成24年 第1回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成24年12月13日(木) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：会長、部会長、運営委員、アドバイザー、会員、オブザーバー等

・ 三部会合同部会の概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 経過報告 ※はビデオ放映

(1) 第5回美しい多摩川フォトコンテストの募集を開始(10/1～12/31)【資料1】

(2) たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK(10/13)【資料2】※

(3) 第5回多摩川一斉水質調査レポート完成(11/1)【資料3】※

(4) 多摩川“水”大学講座(11/16)【資料4】

(5) 第4回美しい多摩川クリーンキャンペーンの開催(11月中)【資料5】※

(6) 美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展 in 福生(11/1～11/10)【資料6】

(7) 「食と地域の交流促進対策事業」～第3回・実行委員会開催(11/21)【資料7】

(8) 第5回多摩川子ども環境シンポジウムの開催(12/8)【資料8】

(9) 「エコプロダクツ2012」においてフォーラムを紹介(12/13～15)【資料9】

～以下、当面の予定～

(10) 「東北復興支援シンポジウム～桜がつむぐ東北の未来～」共催(1/20)【資料10】

(11) 「食と地域の交流促進対策事業」～第3回・食と文化の交流イベント開催(1/29)【資料11】

4. 意見交換

(1) 平成25年度の事業計画について【資料12】

(2) 今後の当フォーラムの方向性等について【資料13】

(3) その他

5. 部会長総括・閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成24年度第1回三部会合同部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

（大田区 都市基盤整備部 副参事 丸山 祐二 様）

いつもお世話になっております。多摩川最下流の大田区から参りました、丸山と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。都市基盤整備部のメンバーが交代で出席させていただいております。多摩川河川敷には、広大なスポーツ施設があり、大田区民にとって多摩川は、言うまでもなく身近な存在です。また、来年度は国体のカヌー会場になっているため、多摩川の水辺でカヌーを楽しむ区民も増えており、憩いの場となっております。私自身も、ガス橋のたもとに住んでおり、毎日窓から多摩川を見て和んでおります。区民にとっても貴重な自然環境である多摩川を、メンバーの皆さんと一緒にいつまでも美しく発展・進化するようご協力させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

2. 部会長挨拶

（細野会長）

歳末のお忙しい中、お集まりいただき有り難うございます。平成24年度・第1回三部会合同部会でございます。後ほどご紹介があると思いますが、我がフォーラムはいよいよ会員数が1,500人を越えようとしています。私の経験ですと、組織が1,000人を超えると、とたんに質が転換し、一生懸命やっている人たちと会員との距離がかけ離れていく傾向にあるようです。どういう形で参加意識を持っていたか、我々の足りないところを補ってもらうにはどうしたら良いのか、皆さんと議論してまいりたいと思います。今日も盛り沢山ですが、よろしくお願いいたします。

（渡邊部会長）

環境清流部会長の渡邊です。私は今年の4月から部会長を引き受けておりますが、美しい多摩川フォーラムの事業に出来るだけ参加し、勉強させていただいている状況です。4月に開催された三春滝桜での語り会も、個人的に参加させていただきました。私はもともと二本松市出身で、隣町が三春なのですが、今まで行ったことがなかったので、とても感激しました。また、5月18日から「多摩川水大学」講座が6回あり、小倉副会長の話が聞きたくて、全て参加させていただきました。6月3日には多摩川一斉水質調査があり、これにも参加しました。6月30日には、「美しい多摩川フォーラムの森（青梅）」の下刈りイベントがあり、見学させていただきました。7月21日の「第5回子どもカヤック体験教室」も見学したところ、子どもたちが目をキラ

キラさせて喜んでいる姿を見て、良いイベントだなと思いました。8月17日の「第4回炭焼き体験と水辺の交流会」にも参加しました。東京で炭焼きが体験できる貴重なイベントで、私も勉強になりました。12月8日の「多摩川子ども環境シンポジウム」も参加し、皆さんの元気な発表を聞いて、大変感心しました。今年色々なイベントに参加させていただいたところで、来年は自分も何かやらないといけないかなと思い、考えているところです。よろしくお願いいたします。

3. 経過報告

(事務局)

下期の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料にて時系列でお示しております。それでは、はじめに(2)番、(3)番、(5)番をビデオにまとめておりますので、後方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(3) 第5回多摩川一斉水質調査レポート完成(11/1)【資料3】※

- ・ 【資料3】のうち、最後のA3版のカラー両面印刷の資料をご覧ください。本年6月3日に実施された多摩川一斉水質調査の最終結果報告書が先月11月に出来上がりました。本日はみずとみどり研究会の佐山様にご出席いただいておりますので、一言お願いします。

(みずとみどり研究会 佐山様)

我々市民グループでは、身近な川の一斉水質調査の一環で、平成元年から多摩川の一斉水質調査を実施しています。平成16年からは全国の市民グループと連携し、「身近な水環境の全国一斉調査」を実施しています。美しい多摩川フォーラムが主催し、今年で5回目となった「多摩川一斉水質調査」は、多摩川の上流域から下流域までの75地点を水質調査しています。水質マップには、75地点以外にも、多摩川の流域で活動している市民グループのデータも一緒に掲載しています。多摩川上流域は青色の点が目立ち、中・下流域になると黄色や赤色の点が出ています。今年、多摩川全流域で400地点が調査されました。水質マップの裏面には、川毎のデータの詳細が記載されているほか、多摩川本流、支流の経年変化グラフを記載しています。今後とも、多摩川フォーラムの皆様には調査を続けていただき、水質をしっかりとチェックしていきたいと思っております。

(4) 多摩川“水”大学講座 (11/16) 【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。これは、今年度唯一の新規事業で、調布市との共催のもと、講師には、小倉副会長をお迎えし、5月に開講、11月に全6回が無事に終了しました。

(5) 第4回美しい多摩川クリーンキャンペーンの開催 (11月中) 【資料5】※

- ・ 【資料5】をご覧ください。当日、連携団体としてご参加された方が本日出席ですので、一言ご感想をお願いします。

(JT 中島 様)

私は、このイベントに初めて参加しました。少し中に入れば大きな粗大ゴミもありましたが、全体的には思ったよりきれいだという印象です。恐らく、こういった地道な活動を何年も続けている成果だと思いますし、少し気を許せば間違いなくゴミは増えると思うので、我々も精一杯きれいな街づくり、美しい多摩川づくりに取り組んでいきたいと思っています。

(日本フィルター工業 中村 様)

今回で2回目の参加となります。前回は30名、今回は20名ほど参加し、社員から参加した感想を聞いたところ、「去年は大きな粗大ゴミがあったが、今年はゴミが少なかった」とのことでした。また、参加した社員の中には、地元出身者がおり、その人の感想は、「よそから来てくれた方々が、多摩川のゴミを拾ってくれていることに大変感謝している。」とのことでした。今後もこのイベントに参加していきたいと思っています。

(6) 美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展 in 福生 (11/1～11/10) 【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。これは、美しい多摩川フォトコンテスト入選作品について、行政と連携して、ロビー等で展示会を開催し、市民に広くPRしていこうという試みで、第1弾を福生市で開催しました。今後、年間に数回程度開催し、多摩川流域の各行政で開催していく予定です。

(7) 「食と地域の交流促進対策事業」～第3回・実行委員会開催 (11/21) 【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。これは、平成23、24年度と、2カ年の案件ですが、イベントとしては、来年1月29日に開催予定の「第3回食と文化の交流イベント」を残すのみとなり、その最終的な詰めを行ったところです。

(8) 第5回多摩川子ども環境シンポジウムの開催 (12/8) 【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。これまでは、多摩川に関する発表がほとんどでしたが、今年は「友田の獅子舞」など、文化に関する発表もありました。また、「浅川とあそぼう」という発表では、寸劇が取り入れられ、「多摩川に伝わる伝統漁法」では、多摩川の歴史に触れるなど、多摩川流域の文化・歴史・環境に関する充実した内容になりました。当日は、約180名が参加しました。本日は、当日参加された福田様に一言感想をお願いします。

(福田 様)

このイベントは、会を重ねるごとに内容が充実し、今ではレベルが高すぎて、上と下の差が出てきたかなと思います。そうすると、来年発表者を選定するのに苦労しますが、発表者本人は、参加できたことを喜んでいました。

(9) 「エコプロダクツ2012」においてフォーラムを紹介 (12/13~15) 【資料9】

- ・ 【資料9】をご覧ください。フォーラム会員のカシオ計算機(株)様では、昨年に続き、12月13日~15日に東京ビッグサイトで開催される、国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2012」に出展され、美しい多摩川フォーラムの活動について、ご紹介をいただいております。

(10) 「東北復興支援シンポジウム～桜がつむぐ東北の未来～」共催 (1/20) 【資料10】

- ・ 【資料10】をご覧ください。東北・夢の桜街道推進協議会が主催のイベントですが、1月10日から受付を開始しております。第1部は「津波そして桜」の上映、第2部は細野会長、ダニエル・カール副会長ほか9名でのパネルディスカッションを予定しています。ぜひ皆さんもご参加ください。本日は、東北・夢の桜街道推進協議会の構成員メンバーが出席されていますので、一言お願いします。

(クラブツーリズム(株) 小笠原 様)

今年の春は、三春滝桜でイベントを開催し、また、小岩井農場では、平野副会長の語り会を独自で開催しました。来年も、ツアーを中心に、東北・夢の桜街道を世間に知らしめて定着させ、定番にさせたいと思っています。

(JTB 小亀 様)

このシンポジウムには、私ども本社の者がパネリストとして参加します。今年度は、残念ながら桜を見に東北に行かれる方が少なかったため、来年度は全体的に盛り上げ、一人でも多くの方に東北に行ってもらえるような取り組みをしていきますので、よろしく願いいたします。

(11) 「食と地域の交流促進対策事業」～第3回・食と文化の交流イベント開催

(1/29) 【資料 11】

- ・ 【資料 11】をご覧ください。今年の2月に中間発表として「第1回食と文化の交流イベント」が開催され、7月には東北復興支援も絡めた「第2回食と文化の交流イベント」が仙台で開催されましたが。来年1月29日には、この事業の集大成となる「第3回食と文化の交流イベント」が開催される予定で、現在チラシを作成中です。一人でも多くの方にご参加いただきたいので、お声かけをお願いいたします。

以上で、経過報告を終わります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

事務局からの経過報告および当面の予定で何かご質問等はございますか。ないようでしたら、意見交換に進めます。

4. 意見交換（部会長）

(細野会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

(1) 平成25年度の事業計画について【資料 12】

(事務局)

- ・ 【資料 12】をご覧ください。フォーラムは、設立から6年目となります。会員数は、今年末1,125名でしたが、昨日1,500名に達しました。平成25年度の事業計画のタタキ台ですが、今年度からの変更点として、経済③大人のカヤック体験教室が新規事業として加わります。これは、今年度に関東農政局交付金の案件で実施した「大人のためのカヤック体験教室」が大変好評だったため、来年度以降も継続して実施したいと考えています。次ページの今年度活動報告をご覧くださいと、年間で54事業を実施していることがわかりますが、安定稼働段階の4年目である来年度も、今年度とほぼ同じ内容の事業を計画しております。このタタキ台をベースに、皆様のご意見をお聞かせください。

(細野会長)

年間で54事業を実施しているとのことですが、事務局はこれらを何人で運営しているのでしょうか。

(事務局)

事務局は、兼務2名を含め、7名でやっております。この7名で、多摩川フォーラムと東北・夢の桜街道推進協議会の事務局を運営しております。

(細野会長)

今の説明を踏まえ、何かご意見・ご質問があればどうぞ。これらの事業を7名で運営するのは、奇跡ではないかと思えます。会員の方々から、「この事業は私たちに任せてください。」という意見はないのでしょうか。

(事務局)

それが一番の理想形です。先日開催された「多摩川子ども環境シンポジウム」では、山崎教育文化副部会長がご家族で、ボランティアで運営をしていただいておりますが、そういった事業が少しでも増えれば事務局としても助かります。

(細野会長)

美しい多摩川クリーンキャンペーンには、CSRの一環として沢山の企業に参加していただいておりますが、少し事業をお任せしても良いのかなと思えます。JTさんはいかがですか。

(JT 中村 様)

うちも積極的に参加はさせていただきます。

(地球野外塾 海老沢 様)

事業を進めるにあたり、考慮していただきたいことがあります。我々は自然体験活動をしておりますが、同じように多摩川で自然体験活動をしている営利業者や非営利業者が存在します。活動をするにあたり、自治体が絡んでいない場合は、それなりの料金をいただく必要があります。「大人のカヤック体験教室」を無料で実施されてしまうと、我々にとっては価格破壊になってしまいます。自治体の実施すれば、市民の福利厚生として納得してもらえますが、市民団体が余りにも低い料金でやってしまうと、「本当は安い料金でできるのではないか」と市民に浸透してしまい、危機的な状況になると心配しています。打開策として、一人当たりの参加コストが5,000円だとすると、参加者には一旦5,000円を払っていただき、後日青梅信金さんの窓口等で4,500円を還付してもらおうというシステムにすれば、実質負担は500円で済みますし、コストに関して市民にも納得してもらえます。そういう仕組みを考えていただきたいというのが私の希望です。

(細野会長)

ただいまの意見に関して、事務局で副案はあるのでしょうか。

(事務局)

同じような話が他からも出ております。私どものイベントは、基本的に無料で実施しており、お金をいただくとしても、弁当代や保険代のみですが、受益者/参加者負担が良いのではないかという意見があるのも事実です。本日いただいた意見も、今後検討して参りたいと思います。

(細野会長)

他にご意見はありますか。

(藤井 様)

多摩地区は、人口が400万人いるのにも関わらず、経済が活性化していません。それは、人数の割に交通網が整備されていないからです。多摩川フォーラムとして、東京都や国に路面電車の設置を提案したらどうかと思います。

(佐山 様)

水質調査に関する提案ですが、会員の皆さんの近所で、まだ水質調査が実施されていない場所があれば、フォーラム事務局に言っていただければ、機材を無償で提供させていただきます。

(事務局)

先ほどの藤井さんのご提案については、本日、東京都様が出席されていますので、後ほどご意見をいただければと思います。

本日、平野副会長から意見書をいただいておりますので、掻い摘んで読み上げます。『多摩の物語については、昨年度、今年度と、関東農政局の交付金による事業の中で取り組みをスタートしました。来年1月29日には、この立川グランドホテルにて、青梅、あきる野、奥多摩に伝わる物語を、現代の話も加え、「伝承された民話×地域の歴史×職や伝統文化」の「語り」として完成発表をします。この交付金は今年度で終了しますので、今後、語る場作りや印刷物としての配布、そして、今後の展開を、来年度以降フォーラムとして行う必要があります。さらに、上流域以外（中流、下流域）の地域資源掘り起し一環としての物語作りを視野に入れて今後の計画を立てていけたらと思います。皆様のご意見ありましたらよろしくお願い申し上げます。』
この件につき、ご意見があればお願いします。

(細野会長)

来年度以降は、上流だけではなく、中・下流域でも物語の発掘をしたいとのことですが、お金も人手もかかりますので、「事務局で」というわけにはいかないかもしれません。会員の方々をお願いしても良いかもしれません。この件について、東京都さんはどうお考えでしょうか。

(小平 様)

観光部が資金的に支援するのは厳しいですが、交付金をいただいて、事業のノウハウを培ってきたのであれば、その後、各団体で継続して自立的にやっていただきたいというのが行政の本音です。中・下流域はかなり広いので、事務局が会員の中からコアなメンバーを絞り、手分けして発掘していければ良いのではないかと思います。

(佐山 様)

「グルナビ」のサイトの方にお会いする機会がありました。現在新しいサイト「グルたび」を作っているとのことで、そのサイトと川を繋げたいということで相談を受けました。結局、着地点が見つからないまま話は終わってしまいましたが、情報発信のひとつの方法として、ご提案させていただきます。

(細野会長)

平野さんは継続したいと思っていますし、フォーラムとしてどういう形で会員の方々にご参加いただくか、そのスキームを考える必要がありますし、外部でこれをビジネスチャンスとして捉える事が出来るならば、ご厚志をいただいても良いかもしれません。事務局に伺いますか、平野さんは副案を持っていらっしゃるのでしょうか。

(事務局)

はい。1月29日の発表会を第1回とカウントし、来年度以降は多摩川の中・下流域に広げ、多摩川流域の文化を掘り起こして伝えていきたいと考えていらっしゃいます。協力する人をどうやって確保していくのか、課題として考えていらっしゃるようです。

(細野会長)

J Aさんと組むことは出来ないのでしょうか。では、次にいきます。事務局の方から説明してください。

(2) 今後の当フォーラムの方向性等について【資料13】

(事務局)

- ・ 【資料13】をご覧ください。これまで6年間にわたって実施した事業を、年度別に一覧表にしたものです。19年度は基本構想段階、20年度はトライアル事業段階、21年度は基盤事業策定段階、そして22年度からは安定稼働段階ということになっています。23、24年度については、「東北・夢の桜街道」やグリーン・ツーリズムが追加されています。特に「東北・夢の桜街道」については、ひとつの事業というよりも、協議会として、フォーラムと同じもしくはそれ以上の事業規模になることが予想されます。この議題については、先般開催された運営委員会でも色々な意見を頂戴しましたが、部会でも皆様からご意見をいただきたいと思います。まずは東京都様より、過去5年間の評価をお願いいたします。

(小平 様)

過去5年間において、経済・環境・教育文化を3本柱に、様々な事業を展開され、平成24年度はかなり多くの事業を実施しています。会員数も1,500人に増え、素晴らしいことだと思います。会員の中には、一生懸命やっていたらっしゃる方や、入ったばかりの方がいらっしゃると思いますが、入ったばかりの方が、今後どのようにフォーラムと深く関わっていくかをマネージメントできると、もっと素晴らしい会になるのではないかと思います。

(細野会長)

ポイントをついたご指摘、有り難うございます。どのような事業が、新しく入った人たちにも参加しやすいか、区分けが必要だということです。他にご意見はありますか。

(石黒 様)

今まで、非常に多くの事業を開催され、事務局に敬意を表します。昨年からはグリーン・ツーリズムがスタートし、個人的にも大賛成ですが、多摩川上流域での取り組みが足りないような気がします。設立当初は丹波山村の方も部会に参加されていましたが、ぱったりと来なくなりました。せっかくグリーン・ツーリズムを取り上げ始めたので、今後もっと上流域あるいは源流にスポットを当てた事業を展開したらどうかと思います。東京都のインターネット調査で、「多摩の観光資源」第1位は登山・ハイキングです。余りお金を使わなくて良いからです。そういう人たちにもっとお金を使ってもらえるような産業を創出し、登山やハイキングを滞在型にするように、次の5年間で取り組めたら良いと思います。上流域はもともと環境が良いので、経済に重点を置いたらどうかと思います。

(細野会長)

それは石黒さんに期待するということが良いですね(笑)。他にありますか。

(藤井 様)

多摩モノレールは、たった16kmの長さで年間6000万人の利用客がいます。その経済効果は大きいです。「来て良かった、住んでいて良かった」という街にするためには、交通網の整備が不可欠です。

(細野会長)

有り難うございました。先ほど、石黒さんから「上流域の地域経済活性化」と、平野さんから「中・下流域の文化掘り起こし」の話がありましたが、事務局は手薄です。そのため、会員が提案し、主体的に動き、フォーラムが協力する体制をつくるべきだと思います。若い人たちが多摩からどんどん都心へ移動し、多摩の高齢化が進んでいます。どうやって若い人たちに多摩の魅力を伝えるか、フォーラムに参加してもらうかが課題です。水質調査等は、一番参加しやすく、興味を持てるのではないかと思います。ほかに何かご意見はありますか。

(馬淵 様)

5年や10年などの節目で事業に優劣をつけたり、住民の方にアンケートを取り、イベントに参加したことがあるかどうか、参加してどう思っているのかを聞く機会を設けたりしたらどうかと思います。

先ほど、文化交流の話が出ましたが、我々財団では、研究助成を毎年1回しておりますので、応募していただければ、一般研究であれば100万円が、学術研究であれば400万円が、2年間継続できますので、ご利用いただければと思います。

(細野会長)

有り難うございました。こういう運動を続けていくためには、人、物、金が必要になってきます。色々なアイデアを出して、ご厚志を集めるということも必要なのかもしれません。多摩川は、海外でも知名度がないそうですが、例えば、我々のホームページを英文化、中文化、ハングル化なりに翻訳して活動したい場合、馬淵さんのほうで助成はされるのでしょうか。

(馬淵 様)

基本的には国内ですが、内容が多摩川に関するものや、多摩川と海外の川を比較するというテーマであれば、選考員の先生たちの目に留まるかもしれません。我々の啓発普及は、英文がホームページにも掲載されていますが、多摩川はまだ外国の人

たちに知られていないので、もっともっと知られるように、我々も努力していかねければならないと思います。

(藤井 様)

高尾山はミシュランガイドに載っていて、有名です。高尾山は多摩川の支流にあるので、高尾山と多摩川を上手くドッキングさせる方法もあるかもしれません。

(事務局)

事務局からクラブツーリズムの小笠原様に質問があります。1月20日にイイノホールで東北復興支援シンポジウムが開催されますが、東北の観光について、美しい多摩川フォーラムがどう関わっていったら良いか、東北の観光について、長い目でどのようにしていったら良いのかについて、ご意見をいただければと思います。

(小笠原 様)

このシンポジウムの件で、パネラーの一人であるJR東日本の筑波次長とお話してきました。これまでは、JRの八王子支社さんが窓口になっていましたが、今後はJR東日本本社の観光開発が直接関わることになったそうです。東北復興は、「桜」というキーワードを上手く活かすとやり易いとのことでした。東北は、一番札所の三春滝桜から八十八番札所の弘前城まで、開花の時期が上手くずれているため、JR東日本としても、段階的にムーブメントを作っていきたいそうです。それに我々旅行業者も乗っていきたいと思います。JR東日本では、東北新幹線と山形新幹線を持っています。東海道新幹線利用者の8割はビジネス客ですが、東北新幹線利用のビジネス客は3割に留まり、7割は観光客となります。JR東日本の本社が積極的に東北・夢の桜街道に関わると、露出が増えますので、色々な方が動き出します。我々クラブツーリズムとしても、事務局から提案されているスタンプラリーやガイドブックをどう活用していくか、検討していきたいと思います。

(細野会長)

夢が広がってきますね。時間ですので、最後に渡邊部会長に総括をお願いします。

5. 総括・閉会（部会長）

(渡邊部会長)

本日は、今年の4月から今までやってきた事業の報告があり、その後、平成25年度の事業計画についてご意見をいただきました。その中で、会員が1,500名、今年度の事業は54事業であるにも関わらず、事務局がたった7名であるとのことでした。また、西多摩の交通網の整備の必要性、水質調査未実施の地点について周りに声

を掛けて増やしたい、平野さんからの意見、当フォーラムの今後の方向性についてもご意見をいただきました。1,500名の会員を事業にどう上手く取り込んでいくかのご意見も沢山いただきました。有り難うございました。

(細野会長)

それでは、平成24年度・第1回三部会合同部会を終わります。ご健勝にて良いお年をお迎えください。有り難うございました。

以 上